

敦賀発電所の現状について

2019年7月29日

日本原子力発電株式会社

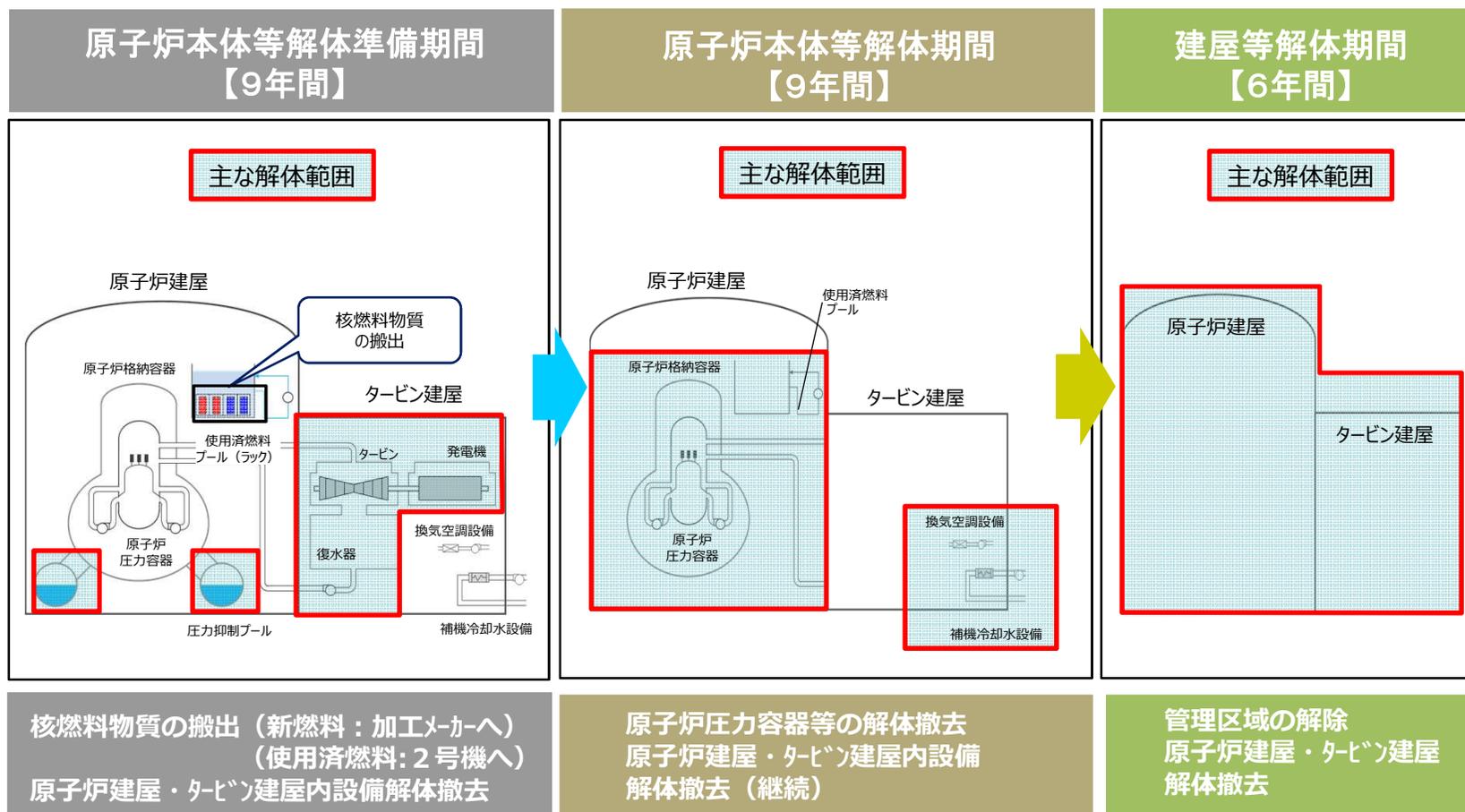
本日のご説明内容

敦賀発電所の現状について

- (1) 敦賀発電所 1号機の廃止措置状況
- (2) 敦賀発電所 2号機の審査状況
- (3) 敦賀発電所等の主な公表

(1) 敦賀発電所 1号機の廃止措置状況

- 2016年 2月12日 廃止措置計画認可申請書を国に提出
- 2017年 4月19日 廃止措置計画が認可
- 2017年 5月15日 廃止措置工事に着手 (現在, タービン・発電機を解体中)



(1) 敦賀発電所 1号機の廃止措置状況 (工事の現況)

- 2017年度：排水ピットの除染工事を実施し完了
- 2018年度：5月より、以下の解体工事に着手

①タービン・発電機等解体工事 (2018年5月～継続中)

[工事内容] タービン建屋3階のタービン・発電機等の解体・撤去等

②制御棒駆動ユニット等解体工事 (2018年5月～2019年2月完了)

[工事内容] 原子炉建屋1階南側エリアの制御棒を動かす装置等の解体・撤去等

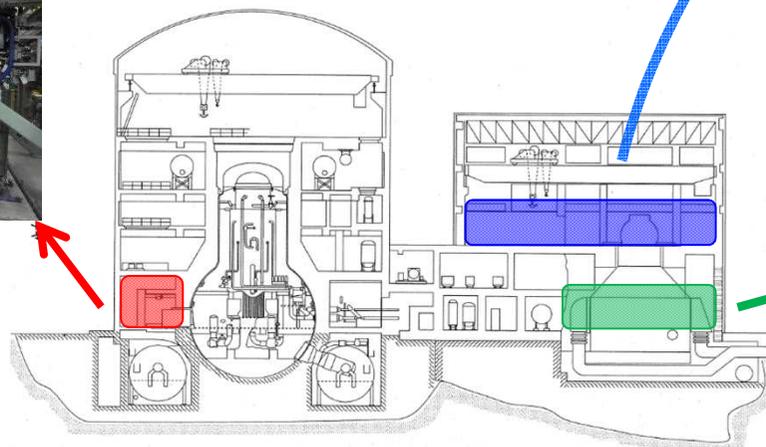
③機械工作室エリア周辺機器解体工事 (2018年5月～2019年1月完了)

[工事内容] タービン建屋1階の機械工作室エリア、高圧注水系エリア等に設置してある機器等の解体・撤去等

①タービン・発電機

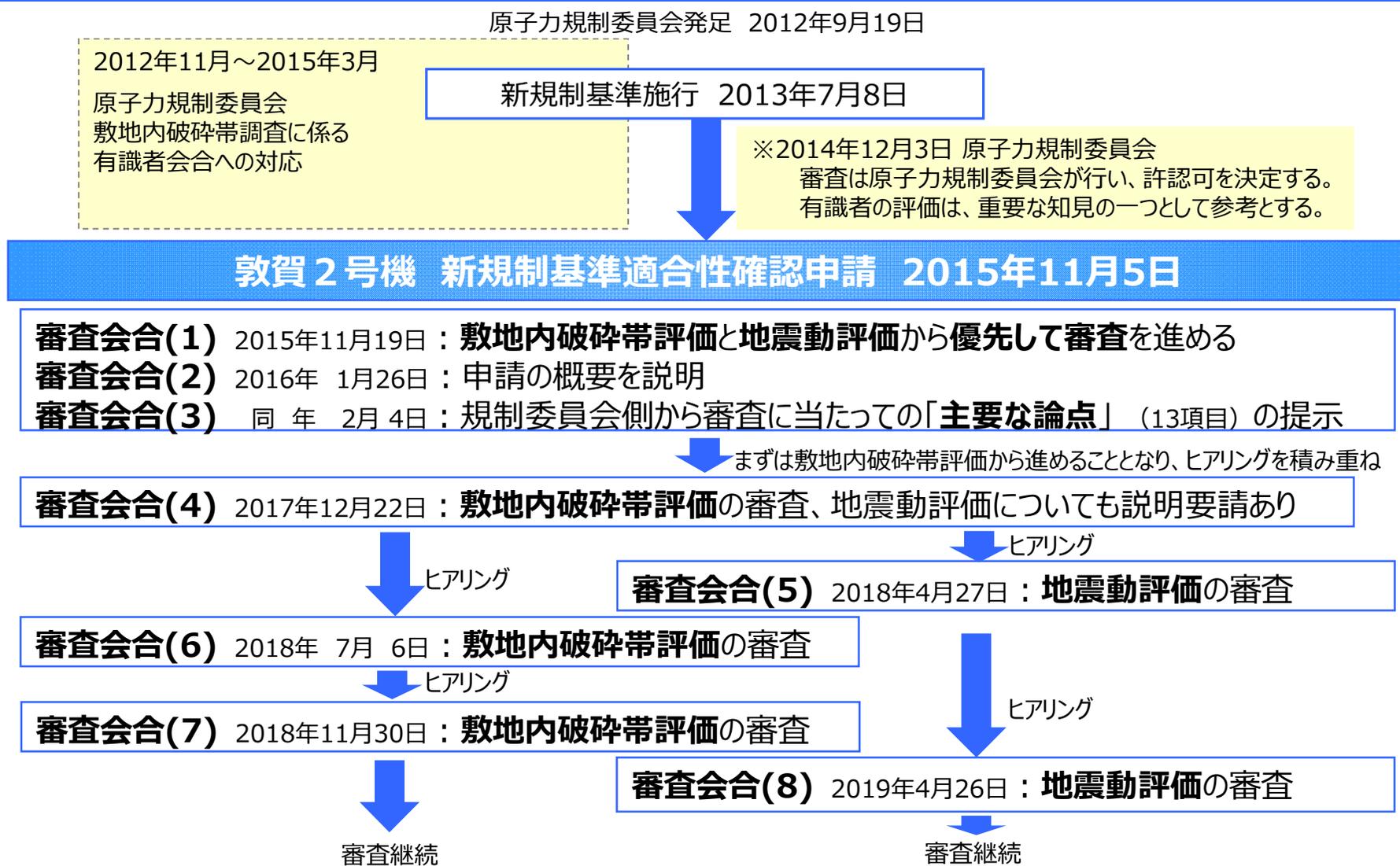


②制御棒を動かす装置



③機械工作室エリア
(高圧注水系ディーゼル)

(2) 敦賀発電所 2号機の審査状況（新規制基準への適合性確認審査状況）



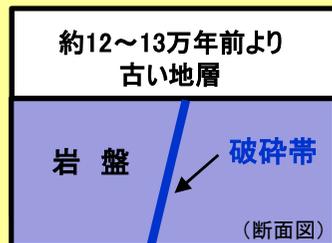
- ・敷地内破砕帯評価のヒアリングを積み重ね、2017年末から実質的な審査が進められている。
- ・また、並行して、地震動評価についても審査が進められていく状況になっている。

(2) 敦賀発電所 2号機の審査状況 (当社の評価及び現在の対応状況)

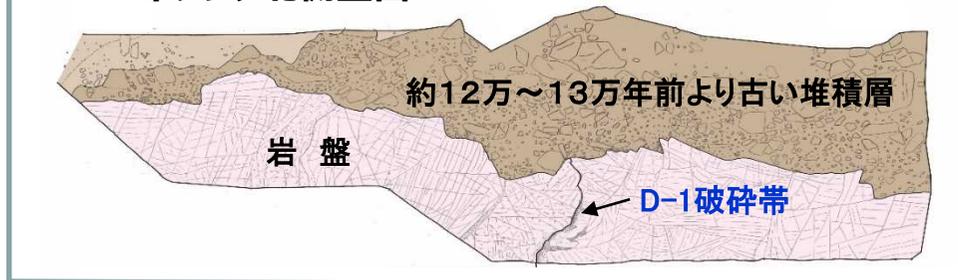
【当社の評価】

※新規制基準では「将来活動する可能性のある断層等」

- 敷地内の代表的な破碎帯 (D1破碎帯) は約12万~13万年前に堆積した地層をずらしておらず、「活断層等」※ではない
- 浦底断層とは活動時期が大きく異なっており、連動することはない



D-1 トレンチ北側壁面



【現在の対応状況】

- 破碎帯分布 (連続性) の考え方の見直しとデータの拡充**
重要施設近傍の破碎帯について、屈曲により重要施設直下に分布する可能性を最大限考慮して検討を進めるため、ボーリング調査により、破碎帯分布をより明確に確認するためのデータを拡充していく。
- 代表破碎帯選定の考え方の見直し**
客観的なデータ (最新活動面のずれの向き等) により破碎帯をいくつかのグループに区分した上で代表破碎帯を選定し、その活動性について評価を進めていく。



敦賀発電所敷地図

(注) 破碎帯はD-1のみ記載

(3) 敦賀発電所等の主な公表

○敦賀発電所1号機用新燃料の輸送（返送）について （2018年7月12日（1回目）、2018年11月16日（2回目）公表）

敦賀発電所で保管していた新燃料を下記の通り燃料加工メーカーへ返送しました。

	1回目	2回目
敦賀発電所 発	2018年7月11日	2018年11月15日
	～	～
株式会社グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン 着	2018年7月12日	2018年11月16日
新燃料集合体輸送体数	16体	20体
輸送方法	陸上輸送	陸上輸送

○敦賀発電所1号機 第2回施設定期検査の終了について

原子炉等規制法に基づく第2回施設定期検査を、2018年12月3日から2019年3月22日にかけて実施しました。

(3) 敦賀発電所等の主な公表

○敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について (2018年7月17日公表)

日本原燃株式会社の低レベル放射性廃棄物埋設センター（青森県六ヶ所村）から廃棄体14本を下記のとおり受け入れました。

1. 輸送年月日
2018年7月12日 日本原燃株式会社 低レベル放射性廃棄物埋設センター 発
2018年7月14日 敦賀発電所 着
2. 輸送数量等
充填固化体14本※（輸送容器2個に収納）

※ 2016年10月に埋設センターに輸送した廃棄物のうち、発電所の搬出検査装置の放射能測定プログラムに不具合が判明したため埋設されなかったもの（12本）、歪みがあり埋設センターの廃棄物取扱設備で取り扱うことができなかったもの（2本）

○中国電力株式会社島根原子力発電所の中央制御室空調換気系ダクト腐食に係る原子力規制庁からの点検指示に対する敦賀発電所2号機の点検結果について (2018年6月29日公表)

点検調査の結果、敦賀発電所2号機の中央制御室空調換気系ダクトに異常はありませんでした。

(3) 敦賀発電所等の主な公表

○敦賀発電所 1号機 硫酸タンク出口配管からの漏れについて (2019年6月3日公表)

2019年5月17日、敦賀発電所1号機の屋外に設置されている硫酸※タンクからタービン建屋1階（管理区域）に繋がる配管の貫通部で硫酸が漏れていることを確認しました。

漏れた硫酸の量は、硫酸タンク堰内に約25.5リットル、タービン建屋1階床面に約5リットルの合計約30.5リットルでした。

原因は、壁貫通部付近の配管保温材内部に雨水が浸入し湿潤状態となった結果、長時間かけて配管外面から腐食、減肉して微小の穴が発生したため、漏れに至ったものと推定されました。

現在、硫酸タンク及び配管内の硫酸の抜き取りは完了しており、今後は当該設備を使用しないこととします。なお、漏れた硫酸に放射能はなく、周辺環境への影響はありません。

※硫酸：液体廃棄物処理系で使用しているイオン交換樹脂を洗浄するための薬品

(3) 敦賀発電所等の主な公表

○他社不適切行為に関する当社の状況について

不適切行為を行った会社	不適切行為の概要及び調査結果
三菱マテリアル株式会社子会社 (2018年6月27日当社公表)	【不適切行為の概要】 ✓ 主にシール材の寸法及び材料物性の測定値について、顧客要求の規格値または社内仕様値の範囲内に書き換えていた。 【調査結果】 ✓ JIS規格の要求等を満足していること等から、性能に問題はないと評価。
日本ガイシ株式会社 (2018年9月12日当社公表)	【不適切行為の概要】 ✓ 一部製品について、社内の規定に従った出荷検査には全て合格しているものの、顧客との間で定めた受渡検査を契約通り実施していなかった。 【調査結果】 ✓ 過去の検査結果等から必要な技術基準を満足することを確認できたこと等から、継続して使用できるものと判断。
三菱電機株式会社子会社 (2018年12月14日当社公表)	【不適切行為の概要】 ✓ 三菱電機株式会社の仕様要求を満足していない製品（ゴム製パッキン）を出荷していた。 【調査結果】 ✓ 三菱電機株式会社への聞き取りの結果等から、発電所の安全性に影響はないと判断。
株式会社フジクラ (2019年3月5日当社公表)	【不適切行為の概要】 ✓ 電力ケーブルや通信ケーブル等について、必要な試験を実施していなかったり、試験成績書に実際とは異なる値を記載するなどしていた。 【調査結果】 ✓ 株式会社フジクラの過去の試験結果を確認した結果等から、発電所の安全性に影響はないと判断。